

### 第3学年 国語科学習指導案

指導者 石塚 広樹  
橋本 智子  
猪狩 幸

1 単元名 自然や生き物になりきって詩をかこう ～「おかだのはらうた」をつくろう～

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、単元を貫く言語活動として「『おかだのはらうた』をつくり、友達と作品を読み合う」ということを位置づけた。「のはらうた」は工藤直子さん著の詩集であるが、その内容はユニークで、森や野原に住む生き物たちや風などの自然現象になりきるという技法で言葉を紡いでいる。この技法を踏襲し、なりたい対象について様々な調査をしながら、詩をつくるという活動は、指導要領のB書事（1）ア「関心のあることがらから書くことを決め、相手や目標に応じて、書く上で必要な事柄を調べる。」に対応するものである。（2）アに「身近なこと、想像したことなどを基に詩をつくったり、物語を書いたりすること」とあるように、本単元の言語活動としてふさわしいものだと考えた。

3 単元について

(1) 児童観 実態調査(第3学年 男子\*\*名 女子\*\*名 計\*\*名実施)

1	文を書くことは好きですか。	・好き **%	・好きではない **%																																			
2	夏休みの出来事で、楽しかったことを詳しく先生に伝える文章を書く。	・出来事のみを書く。(〇〇をして楽しかった)	**%																																			
		・状況を詳しく書く。(〇〇で、△△をしたので、楽しかった)	**%																																			
		・自分の気持ちを加えて書く。(〇〇をして、□□と思ったので、楽しかった)	**%																																			
		・無答	**%																																			
3	2年生で詩をかく活動を行った時はどう思いましたか。	・楽しくかけた・・・**%	・かんたんだった・・・**%	・難しかった・・・**%																																		
		・上手にかけなかった・・・**%	・その他・・・**%	・無答・・・**%																																		
4	次の詩を読んで、答えましょう。																																					
	<table border="1"> <tr><td>と</td><td>わ</td><td>き</td><td>あ</td><td>あ</td><td>あ</td><td>あ</td></tr> <tr><td>ば</td><td>た</td><td>よ</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td></tr> <tr><td>し</td><td>げ</td><td>う</td><td>た</td><td>た</td><td>た</td><td>た</td></tr> <tr><td>ま</td><td>を</td><td>も</td><td>く</td><td>く</td><td>く</td><td>く</td></tr> <tr><td>す</td><td></td><td></td><td>て</td><td>て</td><td>て</td><td>て</td></tr> </table>	と	わ	き	あ	あ	あ	あ	ば	た	よ	い	い	い	い	し	げ	う	た	た	た	た	ま	を	も	く	く	く	く	す			て	て	て	て		
と	わ	き	あ	あ	あ	あ																																
ば	た	よ	い	い	い	い																																
し	げ	う	た	た	た	た																																
ま	を	も	く	く	く	く																																
す			て	て	て	て																																
	① この詩をかいたのはだれだと思いますか。	・風・・・**%	・たんぼぼ・・・**%	・人間・・・**%																																		
		・うさぎなどの動物・・・**%	・その他・・・**%	・無答・・・**%																																		
	② この詩の作者はどんな性格だと思いますか。	・優しい・・・**%	・さみしがり・・・**%	・元気やんちゃ・・・**%																																		
		・おとなしい・・・**%	・わがまま・・・**%	・あきらめない・・・**%																																		
		・その他・・・**%	・わからない(含無答)・・・**%																																			

作文や観察記録を書く活動を好きと考えている児童が\*\*%である。作文の学習を行う場面では、積極的に取り組もうとする児童が見られるが、反面、指示やきっかけがないと取り組めない児童も多く見られる。また、プレテスト2問目のように、状況を説明する作文を書くことが上手な児童は多いが、自分の思いを表現することに対してはあまり慣れておらず、書いた作文の内容も、「楽しかった」や「嬉しかった」などの語句で総括したものになってしまうことも多い。また、詩に関しては、2年生での作詩活動の印象が楽しさを感じたものと困難さを感じたものが拮抗しており、無答や憶えていない児童も入れると半数以上が好意的には捉えていない。

そこで、本単元では、詩を創作する活動を通して、自分の思いや考えを詩に表現する楽しさを味わい、楽しかったことや感動したことを形式的な語句に頼ることなく、素直な気持ちで表現しようとする態度を養っていけるようにしたい。

(2) 教材観

児童は各学年の国語科学習の中で様々な詩にふれてきており、音読などの形で表現する活動を行ってきている。2年生の時には、自分の心情を詩に表現する活動も経験してきている。本単元で教材として取り上げる「のはらうた」は、野原の生き物や自然現象に「なりきる」ことで構成された詩集である。ここでは、舞台をもっとも身近でイメージを共有しやすい岡田小学校の周辺に設定し、この詩集の技法をもとに、生き物や自然現象に「なりきって」詩を書くという活動を行う。文章力が十分でない児童や、文を書くことに抵抗を感じている児童にとって、自分以外の存在となって思いを吐露するこの教材は、自分の主観を書き表す作文活動に比べ、より自由で、思いのこもった言葉を導き出すことができるのではないかと考えた。また、詩はつぶやきがそのまま作品になり得る課題である。文の長さや段落などを気にすることなく、楽しく創作に取り組むことができるようにしたい。

(3) 指導観

単元構成としては、まず、「のはらうた」の楽しさや面白さ、技法や構成について児童が体感できるように、読み聞かせや音読、読書などで十分に触れる機会を設定する。その中で、自分でもなりきってみたくなるような生き物や自然現象を見つけ、意欲をもって作詩活動に取り組めるようにしたい。また、対象物になりきっての活動の中で、それぞれの体の特徴や性質、習性などを内容に取り入れることで、より感情移入度の高い詩を創作することができる。そのためにはより深い知識や観察が必要となる。理科の学習で取り組んでいる昆虫や野鳥の観察と連動させ、見た目や習性はもとより、手触りやにおいなど五感を使って、対象となる生き物への理解を深めることができるようにする。また、詩のリズムを考える時には、漢字部首かるた製作の時に学んだ七五調や七七調などを活かすこともできるであろう。前時までには習得したり経験したりした技術を存分に活かして作詩に取り組ませたい。

(4) 本単元と図書のかかわり

本単元の学習を行うに当たり、重要となるものの一つに、工藤直子さん作の「のはらうた」の十分な理解が挙げられる。図書の時間に読み聞かせを行ったり、朝の読書の時間である「よむよむタイム」に選んで読んだりする活動を通して、「のはらうた」への愛着と理解を高めさせたい。

また、図書室の本の中から、生き物や自然現象に関する情報を集め、なりきる対象物への知識や理解を深めることができるようにすることも大切である。より深い知識を上手に活用して、なりきり度を高め、自分の創作する詩が、単に視点が変わっただけの作品にならないようにしていきたい。

4 単元の目標

- 詩の面白さに興味を持ち、想像を広げて詩をつくらうとする。 (関心・意欲・態度)
- 見たり触れたりしたことや図書で調べたりしたことを基に想像を広げ、詩をつくることができる。 (書くこと)
- 「のはらうた」を読み、自分なりの感想をもち、その良さを述べ合うことができる。 (読むこと)
- 詩をつくったり、読み合ったりすることで、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気付くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の指導計画 (7時間扱い)

次	時	学習活動	意欲付けや支援の手立て	評価規準	指導事項	
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おかだのはらうた」をつくらう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工藤直子著「のはらうた」に登場する人物(のはらの住人)の名前から、詩の内容を想像する。</li> <li>○ 学校司書から「のはらうた」の紹介を聞き、作品に触れる。</li> <li>○ 「のはらうた」の構成や技法を踏まえて、岡田小を舞台にした「のはらうた」を作成する活動を行うことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ のはらの住人の名前を挙げ、主題となる生き物や現象が何かを推測できようにし、詩への関心を高められるようにする。</li> <li>・ 理科などで学習した岡田小周辺の自然を思い出すように伝え、なりきる対象の見当を付けることができようにし、活動に対する意欲や見通しをもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩の表現や書き方の特徴を挙げている。 【言語についての知識・理解・技能】</li> <li>・ 「のはらうた」に関心をもち、「岡田のはらうた」づくりに意欲的に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】</li> </ul>		
二	1 3組 ・ 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「のはらうた」の作り方を「のはらの住人」に学ぼう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「のはらうた」を読んで、登場人物である「のはらの住人」のキャラクターを想像し、表現の工夫などを読み取る。</li> <li>○ 「のはらうた」の構成や技法、特徴、内容などについて知る。</li> </ul>	図書 並 行 読 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩を読み比べることで、表現方法の違いに気付くことができるようにする。</li> <li>・ 住人のキャラクターを想像することで、自然や生き物になりきる時のヒントになるようにする。</li> <li>・ 季節、場所、音など「のはらうた」の構成を知り、詩の創作に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「のはらうた」の中から好きな住人を選び、そのキャラクターを想像している。 【読む能力】</li> <li>・ 「のはらうた」を読んで、その特徴に気付いている。 【読む能力】</li> </ul>	読む ウ オ
三	1 2組 ・ 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おかだのはらうた」を書いてみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分になりたいものとペンネームを決め、その特徴やイメージを調べる。</li> <li>○ 情景や場面を想定し、作品に込める思いを考える。</li> <li>○ 自分の思いや考えを、なりきたいものの特徴を生かして詩に表す。</li> </ul>	図書 を 使 っ て 調 べ る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象物について調べたり想像したりしたことをキャラクターカードに書き、自分のキャラクターを確立させる。</li> <li>・ 対象物になりきって情景や場面を想定することで、詩の創作がスムーズに行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「のはらうた」の技法に則して、自分の「おかだのはらうた」を創作している。 【書く能力】</li> <li>・ なりきる対象物について調べたことを作品に生かしている。 【書く能力】</li> </ul>	書く ア
四	1 1組	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">「おかだのはらうた」の「うたまつり」を開こう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちがつくった「おかだのはらうた」を読み合う。</li> <li>○ 友達の作品の思いを汲み取り、メッセージを添える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の作品に込められた思いに着目し、それに生かしたメッセージを考えている。 【言語についての知識・理解・技能】</li> </ul>	伝国 イ (ア)	

6 本時の学習（7／7）

(1) 目標

友達の「岡田のはらうた」に込められた思いを読み取り、それに応えるメッセージを相手に伝える活動を通して、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気付くことができる。

(2) 準備・資料

メッセージカード、掲示用「岡田のはらうた」カード、掲示用パネル、ペンネーム名札

(3) 展開

学習内容及び活動	形態	・意欲付けや支援 ○個への対応 [ ]評価
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>司書の先生を招待して、「おかだのはらうた」の「うたまつり」を開こう。</p> </div> <p>&lt;鑑賞のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの性格を読み取る。</li> <li>・作者の「思い」は何かを考える。</li> </ul> <p>&lt;メッセージを書くときのポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のペンネーム（のはらネーム）のキャラクターになりきって書く。</li> <li>・作者の「思い」を受け取り、その内容に即したメッセージを書く。</li> </ul>	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次の場面で「のはらうた」を紹介して下さった学校司書の先生を活動に招待することで学習の成果を発表する意欲を高め、感謝の気持ちをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>・パネルに掲示されたみんなの「おかだのはらうた」を読み、たくさんの友達にメッセージを書くことで、創作の嬉しさや楽しさをみんなに分ち合う活動であることを伝える。</li> <li>・鑑賞する時とメッセージを書く時のポイント示し、見通しをもって活動できるようにする。</li> </ul>
<p>2 「うたまつり」を行い、みんなのつくった「おかだのはらうた」を鑑賞したり、メッセージを書いたりする。</p> <p>(1) 掲示されている「岡田のはらうた」を鑑賞する。</p> <p>&lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この言葉使いからすると、「だんごむしまるお」さんはきっと優しい性格なんだろうな。</li> <li>・この「のはらうた」は、ヒマラヤ杉のまっすぐに伸びる様子や大きさを伝えたいんだろうなあ。</li> </ul> <p>(2) 鑑賞した「おかだのはらうた」へのメッセージを書く。</p> <p>&lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私ののはらネームは「そらのすずめ」だから、ヒマラヤ杉の大きさがよく伝わったことを空から見てメッセージにしよう。</li> <li>・カマキリはバッタを食べちゃうけれど、花が好きなところが同じだから友達になれるかもしれない。</li> </ul>	個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の鑑賞は、より楽しい雰囲気の中で友達と意見交換をしながら、行えるようし、「思い」を読み取ることの難しい児童や、メッセージを書くのが苦手な児童が、考えるためのヒントを得やすい状況になるようにする。</li> <li>・友達の作品へのメッセージは、自分ののはらネームのキャラクターになりきって書くようにし、より気軽に思ったことや感じたことを表現できるようにする。</li> <li>・机間指導しながら、メッセージの内容が負のイメージにならないように助言する。</li> </ul> <p>○メッセージが「面白かった・上手だった」といった感想になってしまう児童には、自分のキャラクターならどんな言葉でその気持ちを表すかを考えるように助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価 【言語】(プリント)</p> <p>相手の表現したかった思いを読み取り、相応する自分の考えや思いを文章にしている。</p> </div>
<p>(3) 友達に書いてもらったメッセージを読む。</p> <p>&lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の「思い」がちゃんと伝わっていて嬉しい。</li> <li>・○○さんの見方で見ると、私の作品はこんな風に感じられるんだね。</li> </ul> <p>3 学校司書の先生から、自分たちのつくった「おかだのはらうた」の感想をいただく。</p>	個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージを書いてもらった嬉しさを確認し、作品を読んでもくれた友達への感謝の気持ちをもてるようにする。</li> <li>○「思い」が違う形で伝わっても、人の感性は多様であることを知らせ、よりの確に伝えるためにはどうしたらよいかを考えるきっかけとなるようにする。</li> </ul> <p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書の先生の感想を聞くことで、様々な人に作品を見てもらい、意見をもらう嬉しさを体感できるようにする。</li> </ul>

6 本時の学習（4／7）

(1) 目標

なりきる対象物について調べたり想像したりして、「おかだのはらうた」を作るための材料をキャラクターカードに書くことができる。

(2) 準備・資料

キャラクターカード、のはらうた、関連図書

(3) 展開

学習内容及び活動	形態	・意欲付けや支援 ○個への対応 [ ] 評価
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おかだのはらうた」を書くための材料を集めよう。</p> </div> <p>2 なりたいものについて調べたり想像したりして、キャラクターカードに書く。                      &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいるところ（住所）・年齢</li> <li>・性別・性格・とくいなこと</li> <li>・好きなこと・好きな食べ物</li> <li>・体の特徴・自分の呼び方</li> <li>・口ぐせ・自慢できること</li> <li>・想像できること（イメージ）</li> </ul> <p>3 キャラクターになりきって自己紹介をし合う。                      &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは「ひまらやすぎよ」です。住所はおかだ正門前町1丁目です。曲がったことがきらいです。</li> <li>・ぼくは「だんごむしまるお」です。とくいなことは前転と後転です。男の子だけど日焼けしたくないので、いつもかげにいます。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをし、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>全体</p> <p>個人 ↓ グループ</p> <p>ペア</p> <p>全体</p>	<p>・前時までの学習を振り返り、のはらうたの特徴を意識することで、詩を作るための材料集めに意欲を持って取り組めるようにする。</p> <p>・キャラクターカードに書くことの例を挙げ、なりきる対象物についてくわしく書くように話す。</p> <p>・ペンネームはキャラクターの特徴を踏まえて作るよう助言する。</p> <p>・先にペンネームを考えることから始めても、キャラクターカードに材料を集めてからふさわしいペンネームを考えてもよいことを伝える。</p> <p>・調べたり想像したりしていく中で、書くことの例以外にも書き足して、キャラクターの設定をしていくよう助言する。</p> <p>・途中からグループにし、友達とキャラクターカードに書いていることについて意見交換をし合うようにする。</p> <p>○なかなか書けない子には、前時までの学習を思い出させたり、教師の見本を参考にさせたりする。</p> <p>・自己紹介をすることで、キャラクターへのなりきり度を高め、質問を受けるなかでさらにキャラクターについての材料を集め設定をしっかりとさせていくよう話す。</p> <p>・話し言葉や態度などもすっかりなりきって行えるよう教師が例として示す。</p> <p>○自分から自己紹介が進められない児童には、相手の子から質問をしてもらいそれに答えていくよう声をかける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価【書く能力】（プリント）                      なりきる対象物になりきって、キャラクターカードに書いている。</p> </div> <p>・次時は、本時で集めた材料をもとにして「おかだのはらうた」を作ることを知らせ、意欲付けとする。</p>

6 本時の学習 (2/7)

- (1) 目標  
詩の表現の違いに着目して読み、のはらうたの住人のキャラクターを読み取ることができる。
- (2) 準備・資料  
のはらうたを視写した用紙, 詩を拡大した掲示物, キャラクターカード
- (3) 展開

学習内容及び活動	形態	・意欲付けや支援 ○個への対応 [ ]評価
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お気に入りの「のはらの住人」のキャラクターを想おうしよう。</p> </div>	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を確認しながら, 本時の学習課題をつかむことができるようにする。</li> <li>・キャラクターとは何かを全体で確認しておく。</li> </ul>
<p>2 けやきだいさくの詩を読んで, キャラクターを考える。</p> <p>(1) 詩を音読する。 一人で みんなで</p> <p>(2) キャラクターを想像する。 &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいさくは大きいイメージ。</li> <li>・「わし」って呼んでいるから, おじいちゃんかな。</li> <li>・みんなに頼りにされているから, きっとやさしいと思う。</li> <li>・のはらを見渡せるから背がうんと高い。</li> </ul>	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやきだいさくのキャラクターを全体で考え, お気に入りの住人のキャラクターを想像するときに生かせるようにする。</li> <li>・音読することで, けやきだいさくの詩の雰囲気味わうことができるようにする。</li> <li>・教師の創作した「ありちから」の詩と比べることで, けやきだいさくの大きいイメージが持てるようにする。</li> <li>・詩のどこから想像したかを説明するようにし, 根拠のあるキャラクターを想像できるようにする。</li> </ul>
<p>3 お気に入りの住人のキャラクターを想像する。</p> <p>(1) 各自のお気に入りの詩を読み比べて, ちがいについて話し合う。 &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の呼び方がちがうね。おおすぎごんえもんは「わし」で, からすえいぞうは「おれ」だね。</li> <li>・文の終わりがちがうね。ですますがついた丁寧な言葉の詩もあれば, ~だぜとか~だもんと話し言葉の詩もあるね。</li> <li>・体の特徴が詩の中によく出てくるね。</li> <li>・好きなものや好きなことが詩から伝わってくるね。</li> </ul> <p>(2) 話し合ったことをもとに, お気に入りの住人のキャラクターを想像する。 &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおすぎごんえもんは, 「わし」と自分のことを呼んでいるし, 「えーおほん」とあいさつするから, きっとおじいちゃんだ。</li> <li>・からすえいぞうは, まいごを助けてやさしい。弟がほしかったり, 金色の羽がほしかったり, さみしがりやだと思う。</li> </ul>	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うまく表現できない児童の発言を, 他の児童につないでいくようにする。</li> <li>・住人の特徴をとらえやすくなるように, お気に入りの住人の詩は事前に視写しておく。</li> <li>・複数の詩を比べることで, 呼称, 文末表現などのちがいに気づけるようにする。</li> </ul>
<p>4 本時のまとめをする。</p>	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いがうまくいかないグループには, 何を困っているかを聞き, 全体に投げかけてみる。</li> <li>・グループで話し合ったことを全体で共有することで, キャラクターを想像する視点を増やす。</li> <li>個人</li> <li>・視写した詩を並べ, 友達の詩との違いからキャラクターが想像できるようにする。</li> <li>・うまく表現ができない場合は, 友達に相談するように話しておく。</li> <li>・キャラクターカードに, 想像したことを書き込んでいくようにする。</li> <li>○想像できない児童には, 友達がどんな表現からキャラクターを想像したか聞くように話す。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価【読む能力】(発言・ワークシート) 詩を読み比べて, のはらうたの住人のキャラクターを想像している。</p> </div>